

# 梅原の子

Umehara Elementary School  
梅原小学校 学校だより  
令和6年4月8日号

「だれもが、来るのが楽しい学校、梅原小学校」をめざして

校長 埴岡 靖司

令和6年度が始まりました。児童数48名、5学級でスタートします。4月1日、校庭の桜の花が、私を出迎えてくれました。新年度が始まるにあたって、あらためて梅原小学校は、素敵な出会いがある場所だと感じました。

このような素敵な梅原小学校を、私は「だれもが来るのが楽しみ」と、思える学校にしたいと考えています。「だれもが」とは、子どもだけでなく、保護者のみなさん、教職員、地域の方など、梅原小学校に関係あるすべての方です。ぜひ、みなさんの力をかしてください。

さて、令和6年度の始業式では、次のことを話しました。

「あなたの強みは、何ですか。」「強み」とは、「誰かのために、自分が発揮できる力」です。得意なこと、努力していること、一緒に活動できることです。その「強み」が、「宝物」という言葉になります。つまり、「宝物をつくりましょう。」は、「あなたの強みをさがしましょう。」ということです。

では、宝物をつくらうとしているあなたに、わたしからの2つのアドバイスをします。

1. 「やればできる子」「わたしは、できる子」と、毎日10回つぶやいてみましょう。
2. 周りにいる人(おうちの人や学校の仲間など)の、素敵な姿を3つ見つけて伝えることを毎日続けましょう。

学校に来ると、素敵な姿を見つける相手がいいます。そして、相談できる相手がいいます。学校にいる人とかかわり合う中で、あなた自身の「宝物」＝「強み」を見つけて、育ててください。そして、わたしに教えてください。「みなさんの宝物があふれている梅原小学校」を、この1年かけてつくっていきましょう。

1年間、よろしくお願いいたします。

